

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」  
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	東京農業大学	整理番号	1-1-030
応募テーマ	主として総合的取組に関するテーマ		
取組名称	次世代農業者教育のグローバルネットワーク		
申請単位	大学全体		
申請担当者	藤本 彰 三		
(取組の概要)			
<p>21世紀地球社会最大の課題は食糧問題だが、担い手の農業専門家の養成と国際的なネットワークが不十分である。東京農業大学は世界の農学教育研究の拠点として一層の国際貢献を推進するため、グローバルな人材養成を組織的・効果的に展開している。次世代農業者教育の特色は正規の科目教育と課外教育の連携の下で、食・農・環境に関する実践的オピニオンリーダーを育成することである。科目教育は学科ベースと全学横断的な「英語による専門教育プログラム」で専門知識を教授している。加えて、姉妹校農業実習やアメリカ農業実習等の豊富な交流プログラムを実施している。課外教育では、「新世紀の食・農・環境を考える世界学生フォーラム」に参加し、留学生や姉妹校学生との交流を通じて諸国の問題を自主的に学習する。毎年開催の「世界学生サミット」には姉妹校学生代表を招聘し、食・農・環境問題について意見交換し、討議成果を社会にアピールしている。</p>			
(採択理由)			
<p>この取組は、東京農業大学の教育目的・理念に向け、学部横断的な英語による専門教育プログラムに加え、1966年より始まった留学や1981年から始まった海外での農業実習などの交流プログラム、2001年から始まった世界学生サミットなどを有機的に運用することを目指すもので、全学審議会で決定されたものです。関係者の努力によって、留学生受け入れをはじめとする海外との学生交流と農業実習などで成果を上げています。この取組は特に、海外実習と留学生受け入れ、世界学生サミットとフォーラムの学生による運営と組織的支援が、実学教育とグローバル化の推進にむけて体系的に運用されている点について優れた特色があり、他の大学の参考になる事例です。</p>			